


●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 本製品取付けの際は、アルファテラス本体に同梱の取付け説明書と併せてご使用ください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・本製品は木造住宅の3階以下に取付けられる設計となっております。4階以上の高所には取付けないでください。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・他社商品（バルコニーなど）と組合せて設置しないでください。
- ・本製品はタイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。下記の表にしたがって取付けてください。

■アルファテラス 標準タイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5・6尺	○	○	×
7~10尺 12・15尺	○	×	×

■アルファテラス 下止めタイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5~7尺	○	○	×

※3.0間通しは、1階のみ設置可能です。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてください。

●取付け時の足場について

- ・取付け時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

●取付け上について

- ・みだりに改造・変更をしないでください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項をお守りください。

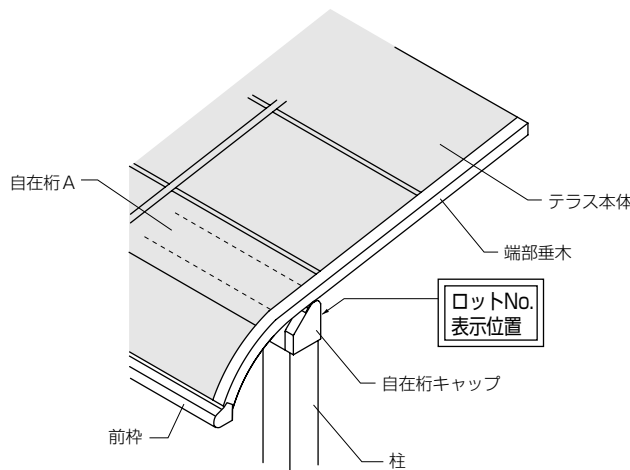
●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。

■取付け上のお願

- 取付けは専門業者が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

■構造説明図



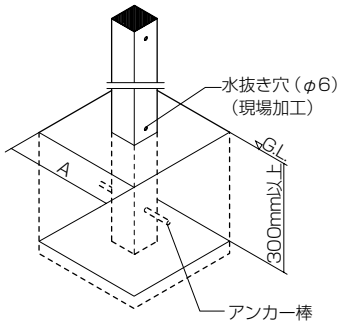
■取付け順序

1 基礎施工および垂木掛けの取付け

●垂木掛けおよび長尺柱、自在桁用長尺柱を施工してください。

※垂木掛けおよび柱の施工はアルファテラスの取付け説明書をご参照ください。

※コンクリート施工は骨組完了後、屋根材を組込んだ後に行ってください。アンカー棒は必ず施工してください。



■基礎サイズ表 (A寸法)

タイプ	出幅	開口	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
600 タイプ	3R	□	300	350	300	350	350
	4R						
	5R						
	6R						
	7R						
	8R						
9R	□	500	550	500	550		
10R							
12R							
15R							

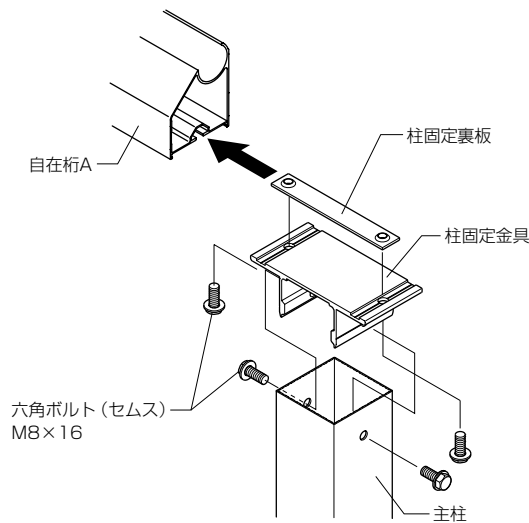
タイプ	出幅	開口	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
1500 タイプ	3R	□	300	350	300	350	350
	4R						
	5R						
	6R						
	7R						
	8R						
9R	□	500	550	500	550		
3R							
4R							
5R							

2 柱と自在桁Aの組付け

①柱固定金具を柱固定裏板に取付けたまま自在桁Aの溝に挿入し、仮固定してください。

②柱固定金具を柱に差込み、自在桁Aの位置出しをした後に固定してください。

※連棟の場合は、柱固定金具を最初に取付けた自在桁Aに完全のみ込ませませす。自在桁Aの連結が終了した後、自在桁A全体を移動させ、位置出しを行い、柱と自在桁Aを固定してください。柱の施工およびバルコニー連結の場合は、アルファテラスの取付け説明書をご参照ください。



3 垂木の加工

①中間垂木、端部垂木の前枠側に前枠倒れ止め金具取付け用のφ4.5の穴を垂木の両側にあけてください。

※前枠倒れ止め金具中間用を治具としてください。(※1)

金具の段落ちした部分を垂木端部にあててください。(※2)

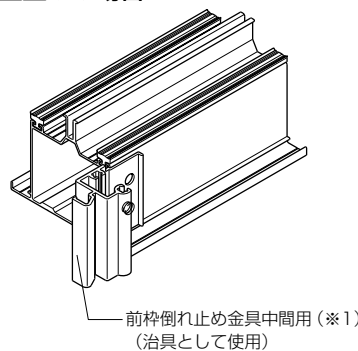
穴あけ加工時には端部を合わせてください。(※2)

下止め用端部垂木には、あらかじめ1カ所穴加工がしてあります。

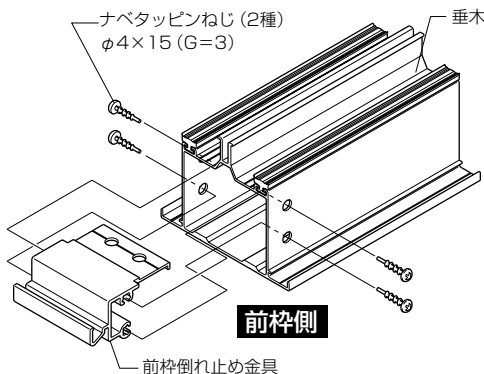
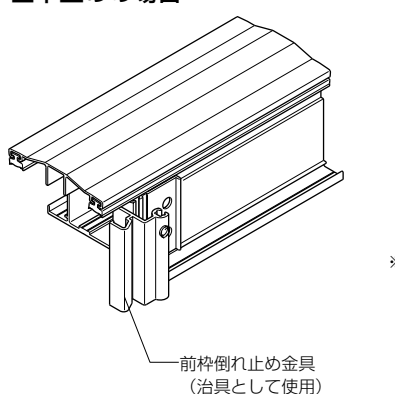
※前枠倒れ止め金具端部用(L=31mm)には治具としての加工がしてありませんので中間用の前枠倒れ止め金具を使用して端部垂木に加工をしてください。

②①で加工した中間垂木、端部垂木に前枠倒れ止め金具をナベタッピンねじφ4×15で組付けてください。(前枠倒れ止め金具を固定するねじのうち、上側のねじは仮固定ねじです。)

■上止めの場合



■下止めの場合

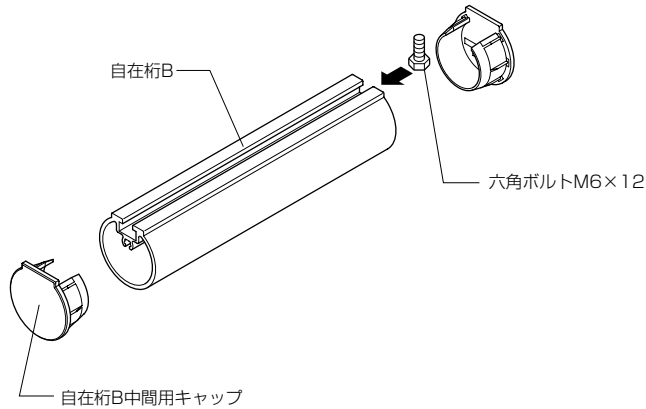


※前枠倒れ止め金具には中間用と端部用の2種類あります。中間用は幅が40mm、端部用は幅が31mmです。

4 自在桁Bの組立て

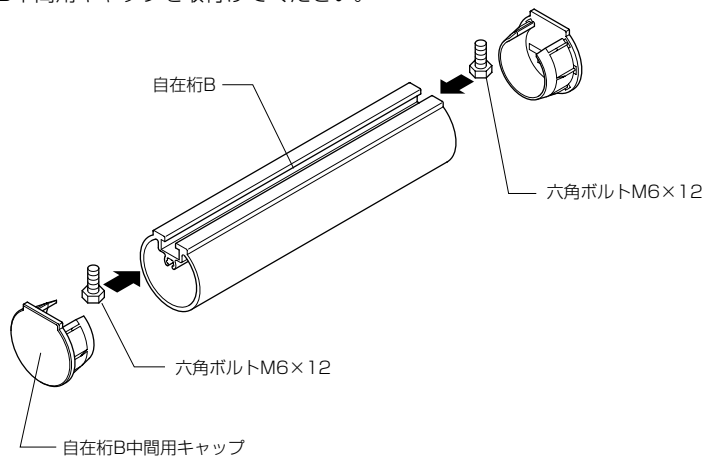
1 端部垂木用

- 自在桁Bに六角ボルトM6×12を1個挿入して、自在桁B中間用キャップを取付けてください。



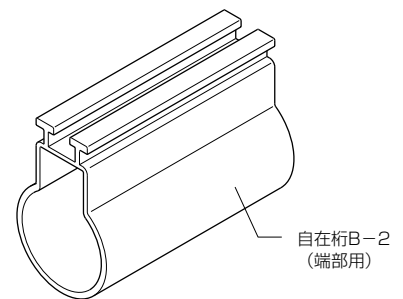
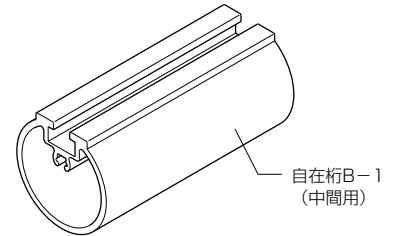
2 中間垂木用

- 自在桁Bに六角ボルトM6×12を2個挿入して、自在桁B中間用キャップを取付けてください。



■F型(9・10尺)の自在桁Bについて

※F型(9・10尺)の自在桁Bは端部と中間では形状が異なります。組立てに関しては他のタイプと同様です。



5 自在桁Bの取付け

- 「4 自在桁Bの組立て」で組立てた自在桁Bを自在桁Aに挿入してください。

※端部垂木を取付ける際には端部垂木用自在桁Bを、中間垂木を取付ける際には中間垂木用自在桁Bを挿入してください。

※順序を間違えると垂木の取付けができなくなります。

※端部垂木用の自在桁Bは、自在桁Aの端部と端部をあわせてください。

(図-1参照)

中間垂木用の自在桁Bは固定穴の中心においてください。

(図-2参照)

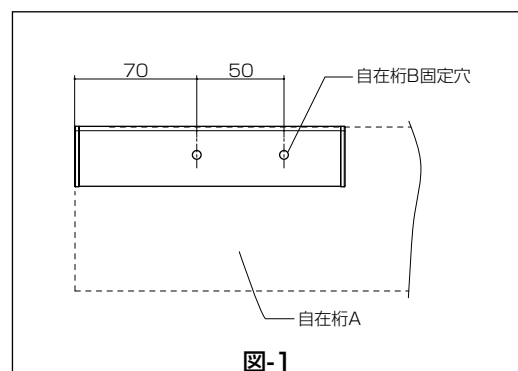
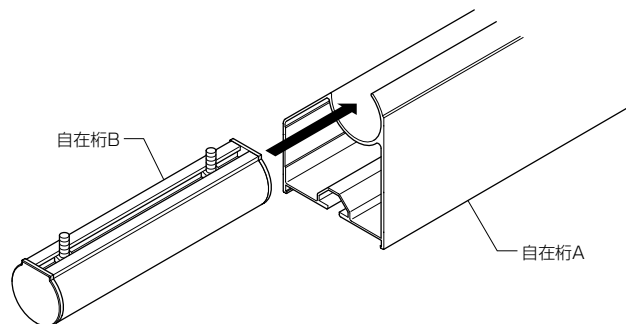


図-1

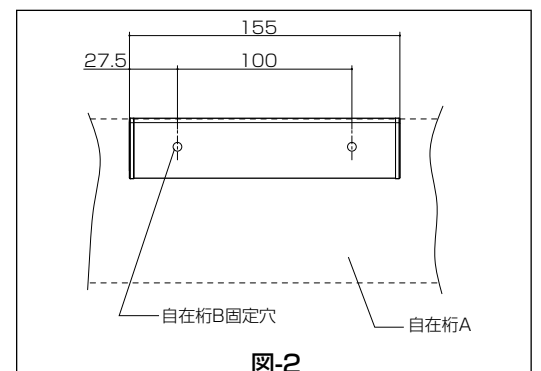
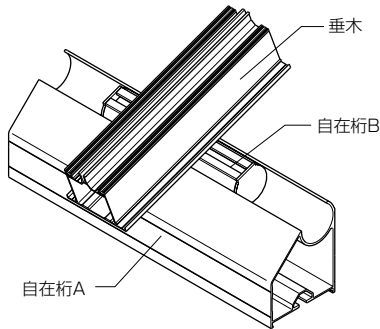


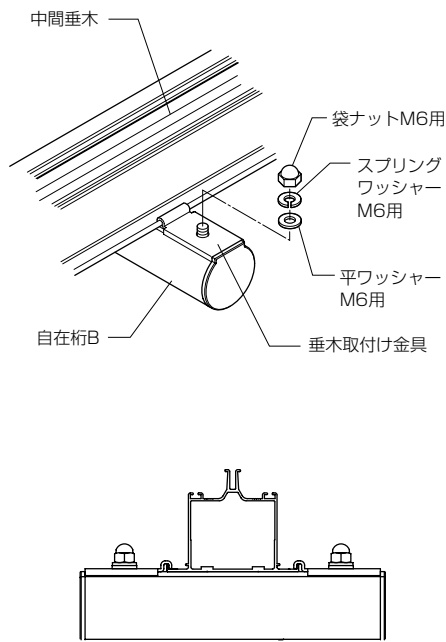
図-2

6 自在桁と垂木の組付け

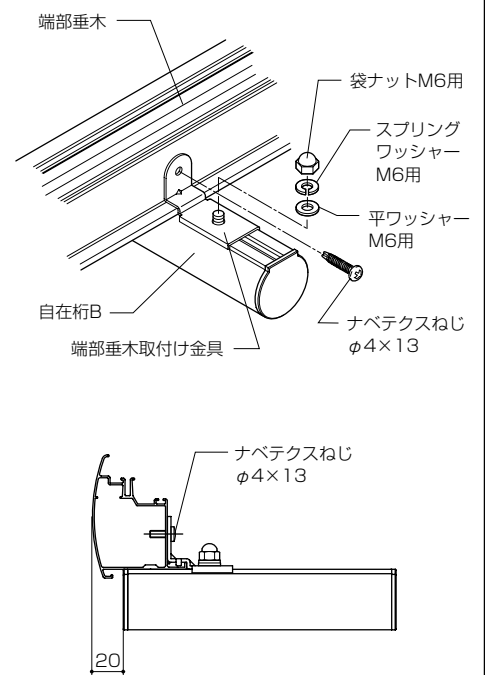
- ① 中間垂木、端部垂木を取付けてください。
※ 上止めの場合、垂木の取付けは「アルファテラス標準タイプ」の取付け説明書を参照ください。
- ※ 下止めの場合、垂木の取付けは「アルファテラス下止めタイプ」の取付け説明書を参照ください。
- ② 自在桁Bと垂木を垂木取付け金具を用いて固定してください。端部垂木は、端部垂木取付け金具とナベテクスねじφ4×13を用いて固定してください。
- ※ 中間垂木を取付ける自在桁Bは固定穴の中心に取付けてください。端部垂木は自在桁Bの端部から約20mmはみでた位置になります。



■ 中間垂木

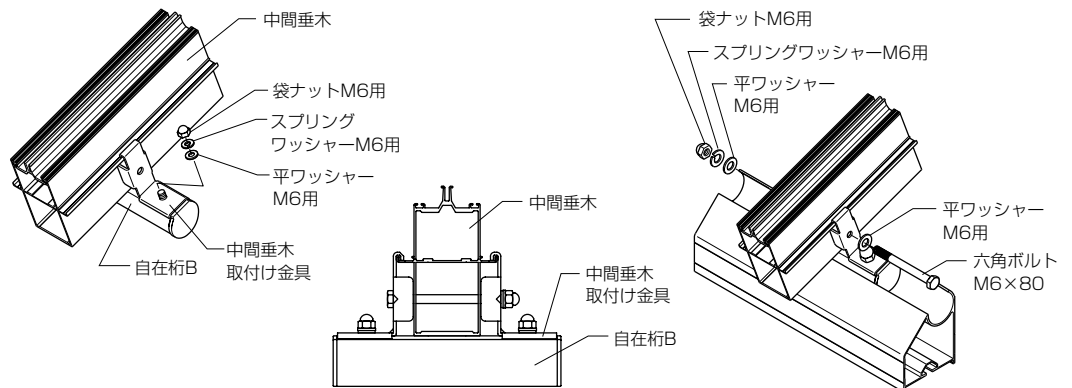


■ 端部垂木



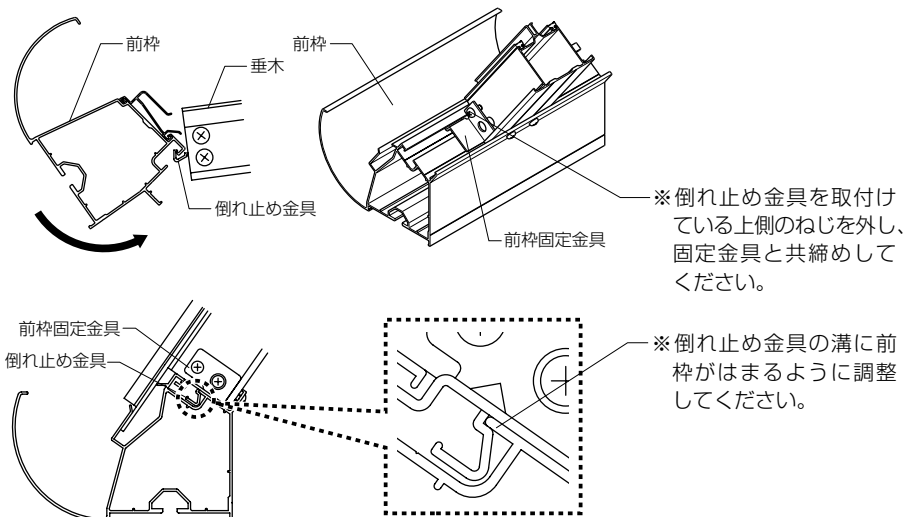
■ F型12・15尺の場合

- ① 中間垂木取付け金具で中間垂木を仮固定してください。
(取付けは袋ナットM6用をします。)
- ② 取付け金具にあってる穴を利用して、中間垂木にφ7の穴をあけてください。(貫通です。)
- ③ ②の穴に六角ボルトM6×80を通して固定してください。



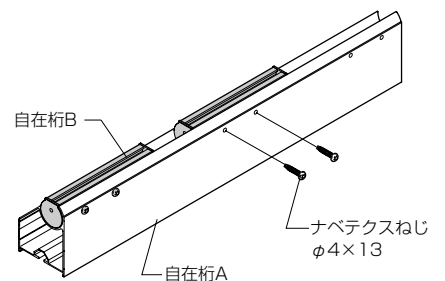
7 前枠の組付け

- ① 倒れ止め金具に前枠を引っ掛けて垂木側に回転させてください。
※ 前枠の施工は「アルファテラス標準タイプ」の取付け説明書を参照してください。
- ② 倒れ止め金具を固定しているナベタッピンねじφ4×15の上側のねじをいったん外して、前枠固定金具を前枠に引っ掛け、再度ナベタッピンねじφ4×15で固定してください。なお、前枠固定金具の取付け位置は両端部垂木と、中央の垂木の2カ所にと付けてください。



8 自在桁AとBの固定

- 自在桁AとBをナベテクスねじφ4×13で固定してください。

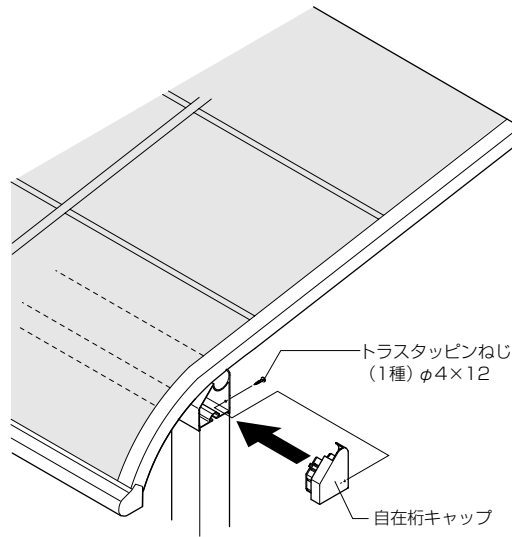


9 自在桁キャップの取付け

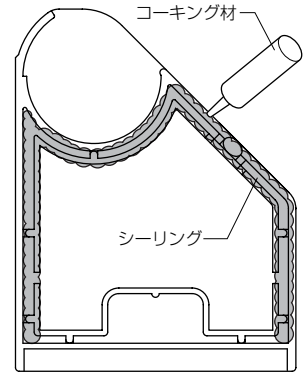
- ①自在桁キャップの図の位置にシーリングをしてください。
- ②自在桁キャップを取付け、キャップ取付け用の穴加工をしてください。
(φ3.5 位置は下図参照)
- ③自在桁キャップをねじ止めしてください。

▲ 注意

●指定の個所にコーキング材を
充てんしてください。

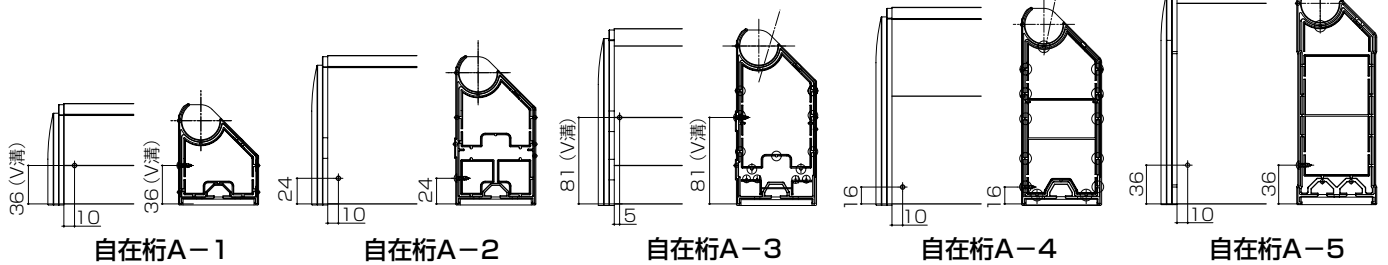


■自在桁キャップシーリング箇所



※自在桁にのみ込ませる部分にコーキング材を充てんしてください。下部は必要ありません。

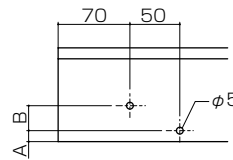
■キャップ取付け用加工穴位置



10 連棟時の取付け

- ①自在桁Aに連棟スリーブ取付け用の穴加工をしてください。(図-3、図-4参照)
 - ②①で加工した穴を写し穴にしてナベテクスねじで連棟スリーブを取付けます。
- ※連棟スリーブは片側の自在桁Aに取付けた後、残りの自在桁Aに挿入して固定してください。
- ※連棟部に取付ける自在桁Bは、自在桁Aをまたぐように取付けてください。残った穴は穴ふさぎシールでふさいでください。
- ※連棟スリーブには下穴があいていないものもあります。その場合は、連棟スリーブを150mm自在桁にのみこませて、ナベテクスねじで固定してください。

■自在桁A加工穴位置



■加工寸法表

	A寸法	B寸法
A-1	11	25
A-2	56	25
A-3	81	25
A-4	101	25
A-5	40	78

図-3

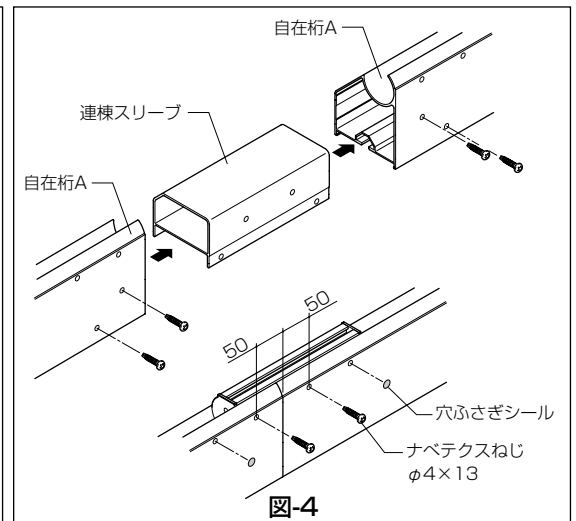
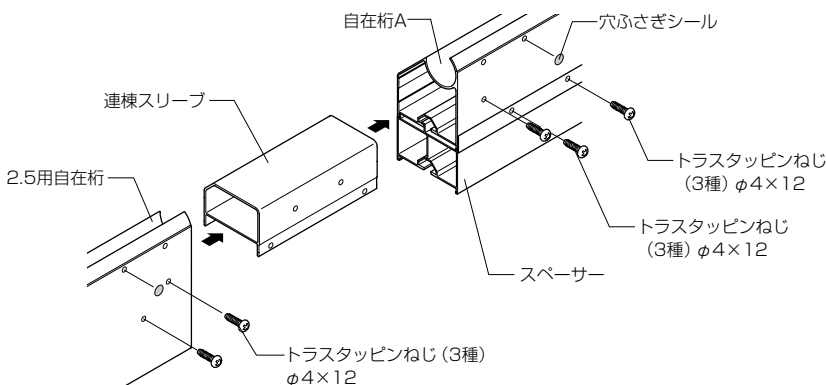


図-4

11 A-1・2自在桁の連棟

- ①自在桁A-1+スペーサーの場合、スペーサーの連棟部に穴加工をしてください。(図-5参照)
 - ②自在桁A-1、2、3の連棟部に「10 連棟時の取付け」を参考に加工してください。
 - ③スペーサー、連棟スリーブを固定してください。
- ※スペーサーはあらかじめ、自在桁Aと組立てておいてください。その場合、①で加工した穴はスリーブを挿入後にナベテクスねじで固定してください。



■スペーサー加工穴位置

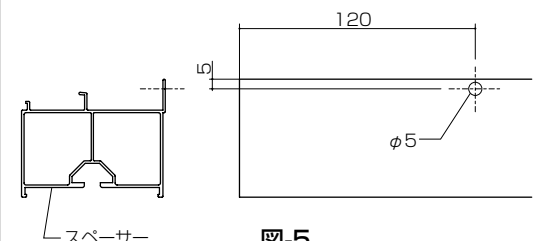
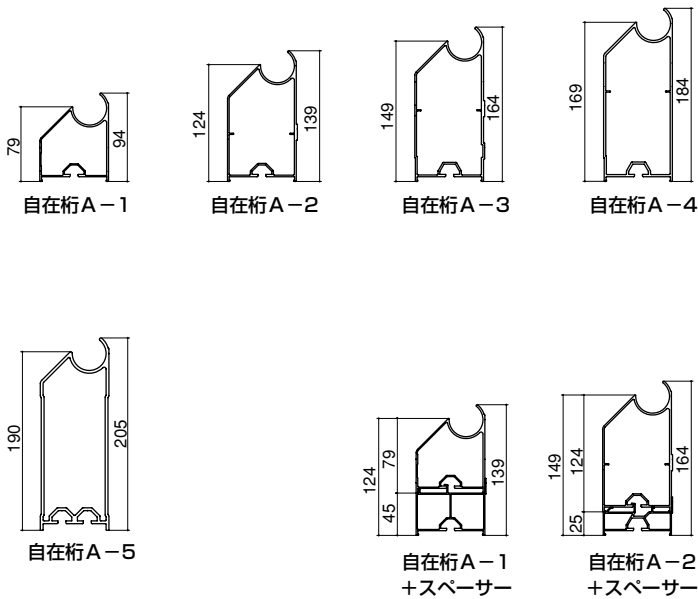


図-5

■参考納まり図

■自在桁使い分け表



※自在桁A-2+スペースで使用するスペースは、テラス本体で使用するスペースを流用します。

●600タイプ

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し(関東間)
出幅					
3尺	A-1			A-2	A-3
4尺	A-1			A-2	A-3
5尺	A-1			A-2	A-3
6尺	A-1			A-2	A-3
7尺	A-2			A-3	設定なし
8尺	A-2			A-3	設定なし
9尺	A-2			A-3	設定なし
10尺	A-2			A-3	設定なし
12尺	A-5				
15尺	A-5				

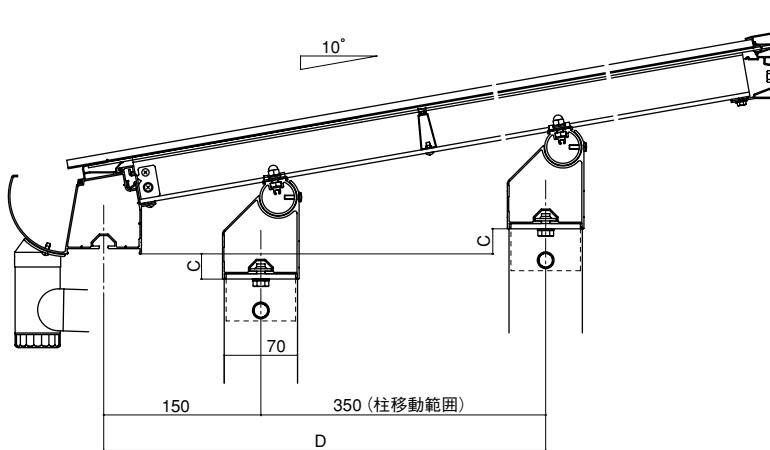
●1500タイプ

間口	1.0間	1.5間	2.0間
出幅			
3尺	A-3		
4尺	A-3		
5尺	A-3		
6尺	A-3		
7尺	A-3		
8尺	A-4		
9尺	A-4		

●3000タイプ

間口	1.0間	1.5間	2.0間
出幅			
3尺	A-5		
4尺	A-5		
5尺	A-5		
6尺	A-5		

●アルファテラスF型



■F型柱寸法 (C = 自在桁柱位置 - 前枠柱位置)

強度	600タイプ			
	1.0~2.0間			
間口	3~6尺	7・8尺	9・10尺	12・15尺
出幅	C1	C2	C3	C4
柱移動距離 : D	C1	C2	C3	C4
150	-24	-69	-89	-185
200	-15	-60	-80	-176
250	-6	-51	-71	-167
300	3	-42	-62	-158
350	11	-34	-54	-150
400	20	-25	-45	-141
450	29	-16	-36	-132
500	38	-7	-27	-123

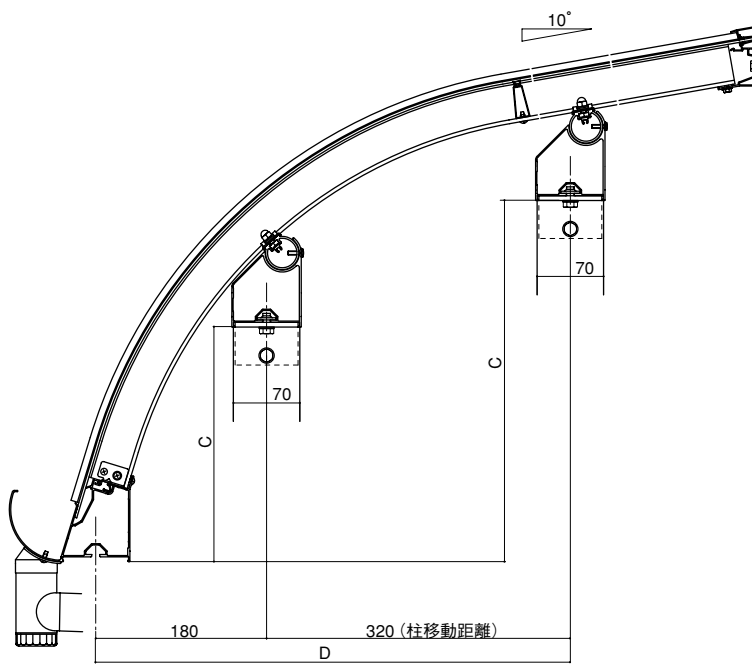
強度区分	600タイプ			1500タイプ	3000タイプ
	1.0~2.0間	2.5間通し	3.0間通し	1.0~2.0間	1.0~2.0間
出幅					
3尺	C1	C1-20	C1-70	C1-45	C1-111
4尺					
5尺					
6尺					
7尺	C2	C2-25	設定なし	C2	設定なし
8尺				C2-20	
9尺	C3	C3-25	設定なし	C3-20	設定なし
10尺					
12尺	C4	C4	C4		
15尺	C4	C4	C4		

※自在桁仕様の前枠は本体をご覧ください。

(ただし、補強桁は取付けません。)

※垂木の形状は出幅・タイプ(強度区分)により異なります。

●アルファテラスRA型



■RA型柱寸法 (C=自在桁柱位置-前柱柱位置)

強度	600タイプ
間口	1.0~2.0間
出幅	5~6尺
柱移動距離 : D	C
180	247
200	264
250	300
300	328
350	348
400	362
450	372
500	380

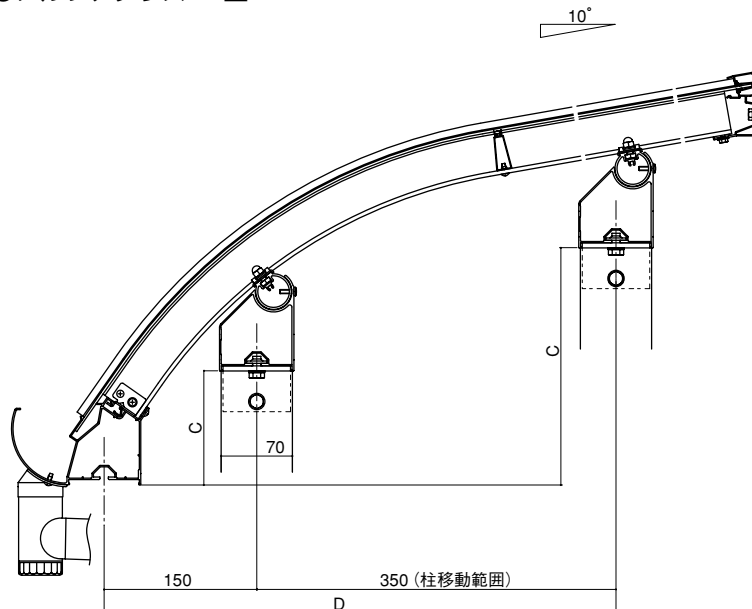
強度区分	600タイプ			1500タイプ
間口	1.0~2.0間	2.5間通し	3.0間通し	1.0~2.0間
出幅				
5尺	C	C-20	C-70	C-45
6尺				

※自在桁仕様の前柱は本体をご覧ください。

(ただし、補強桁は取付けません。)

※垂木の形状は出幅・タイプ(強度区分)により異なります。

●アルファテラスRB型



■RB型柱寸法 (C=自在桁柱位置-前柱柱位置)

強度	600タイプ	
間口	1.0~2.0間	
出幅	3~6尺	7~10尺
柱移動距離 : D	C1	C2
150	112	67
200	146	101
250	173	128
300	192	147
350	205	160
400	214	169
450	223	178
500	232	187

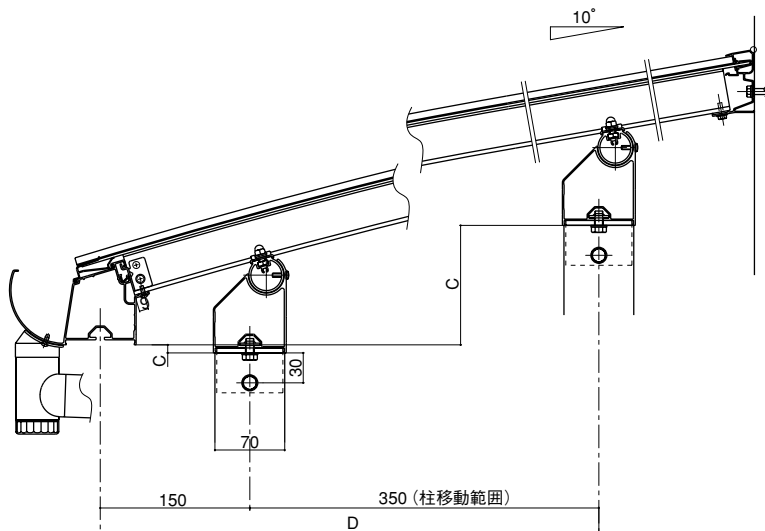
強度区分	600タイプ			1500タイプ	3000タイプ
間口	1.0~2.0間	2.5間通し	3.0間通し	1.0~2.0間	1.0~2.0間
出幅					
3尺	C1	C1-20	C1-70	C1-45	C1-111
4尺					
5尺					
6尺					
7尺	C2	C2-25	設定なし	C2-20	設定なし
8尺					
9尺					
10尺					

※自在桁仕様の前柱は本体をご覧ください。

(ただし、補強桁は取付けません。)

※垂木の形状は出幅・タイプ(強度区分)により異なります。

●アルファテラスL型



■L型柱寸法 (C=自在桁柱位置-前柱柱位置)

強度	600タイプ			
間口	1.0~2.0間			
出幅	3・4尺	5・6尺	7尺	8~10尺
柱移動距離：D	C1	C2	C3	C4
150	-8	-8	-53	-39
200	5	6	-39	-20
250	19	20	-25	-1
300	31	33	-12	18
350	43	47	2	37
400	55	59	14	55
450	67	72	27	73
500	78	84	39	90

強度区分	600タイプ			1500タイプ	3000タイプ
間口	1.0~2.0間	2.5間通し	3.0間通し	1.0~2.0間	1.0~2.0間
3尺	C1	C1-20	C1-70	C1-45	C1-111
4尺					
5尺					
6尺	C2	C2-20	C2-70	C2-45	C2-111
7尺					
8尺	C3	C3-25	設定なし	C3	設定なし
9尺					
10尺				C4	

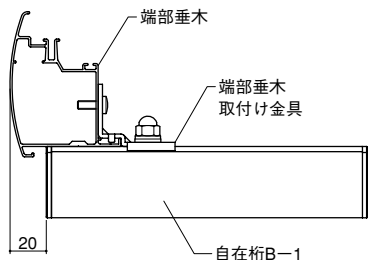
※自在桁仕様の前柱は本体をご覧ください。
 (ただし、補強桁は取付けません。)
 ※垂木の形状は出幅・タイプ(強度区分)により異なります。

■端部垂木取付け金具納まり図

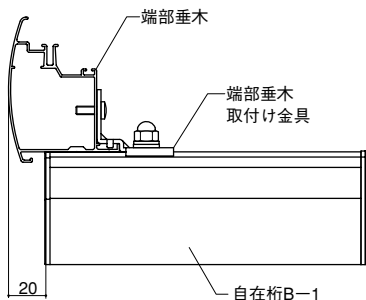
F型 (3~8尺)

RA・RB・L型共通

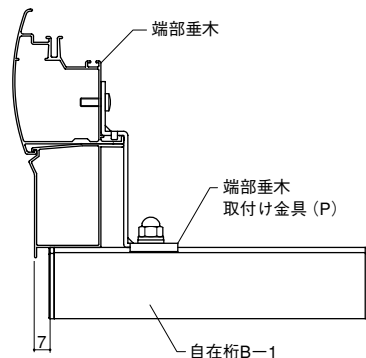
(端部垂木形状は異なります。)



F型 (9・10尺)



F型 (12・15尺)



■中間垂木取付け金具納まり図

F型 (3~8尺)

RA・RB・L型共通

F型 (9・10尺)

F型 (12・15尺)

